

令和3年度 林業成長産業化総合対策補助金等
「地域内エコシステム」技術開発・実証事業

発酵熱を用いる木質チップ 自然乾燥手法の高度化

成果報告会資料

令和4年3月17日
株式会社日比谷アメニス

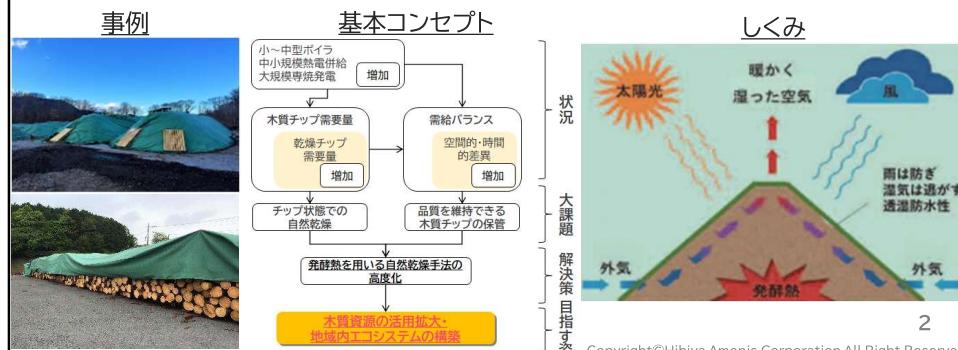
1

1. 事業背景・目的

AMENIS
<http://www.amenis.co.jp>

- 1) 木質燃料に求められる水分管理としての「乾燥」と「保管」
 - 木質チップ需要量増加に対し、品質向上策として燃料材の水分管理が求められている。
 - 丸太・枝条での屋外自然「乾燥」に加えて、チップでの自然乾燥が必要となるケースも。
 - 需給バランスを取るための「保管」については降雨対策と有機物損失の抑制が重要。
- 2) 木質チップの屋外自然乾燥手法
 - 透湿防水性シートは、外部からの雨水の侵入を防ぎつつ内部からの湿気を逃がす。
→木質チップの自然乾燥は要素(空気温度、日射、風等)に発酵熱が加わる。
- 3) 本事業の目的

『発酵熱を用いる木質チップの自然乾燥手法を高度化し、簡便かつ低コストで実施可能な手法として確立することで、地域内エコシステムづくりに貢献する』



2. 実施項目

AMENIS
http://www.amenis.co.jp

1) 乾燥手法の最適化に向けた情報整理

- 木質チップ樹種や積層サイズ等が乾燥挙動に与える影響を整理する。
- 発酵熱を用いた自然乾燥に適する設置条件の整理を行う。

2) 実証試験による乾燥・保管能力の評価

- 各条件を設定した上で木質チップの乾燥・保管試験を実施し、手法の効果を評価する。

《主な評価項目》

水分管理効果(%):開始時・中間・終了時のサンプルチップの水分変化により、乾燥・保管効果を確認。

有機物損失(%):木質チップ自身の分解による有機物の減少度合いを推定。

燃料品質:実証試験前後にて品質(成分や低位発熱量等)の変化を確認。

3) 効率的な運用手法の開発

- 乾燥期間の短縮:木質チップへのふるい分けを行い、水分変化やチップの品質を比較
- シートの敷設方法:透湿防水シートのかけはがし作業について、人力や機械作業の作業性を確認

4) 本手法に適した事業モデルの構築・パターン化

- アンケートやヒアリング調査による運用実態の把握・実運用を想定した手順の検討
- 運用モデルの構築:本手法に適したパターンを整理し、物質収支や採算モデルの検討を行う。

《主な評価項目》

処理コスト(円/m³):本手法に掛かる費用(導入コスト・オペレーションコスト)を算定する。

3

Copyright©Hibiya Amenis Corporation All Right Reserved

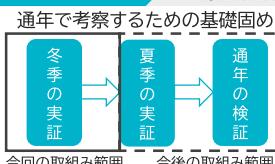
2. 実施概要

AMENIS
http://www.amenis.co.jp

《実証試験の前提条件》

実証期間:2021年10月～2022年2月(冬季)

統一条件:全幹・切削チップ



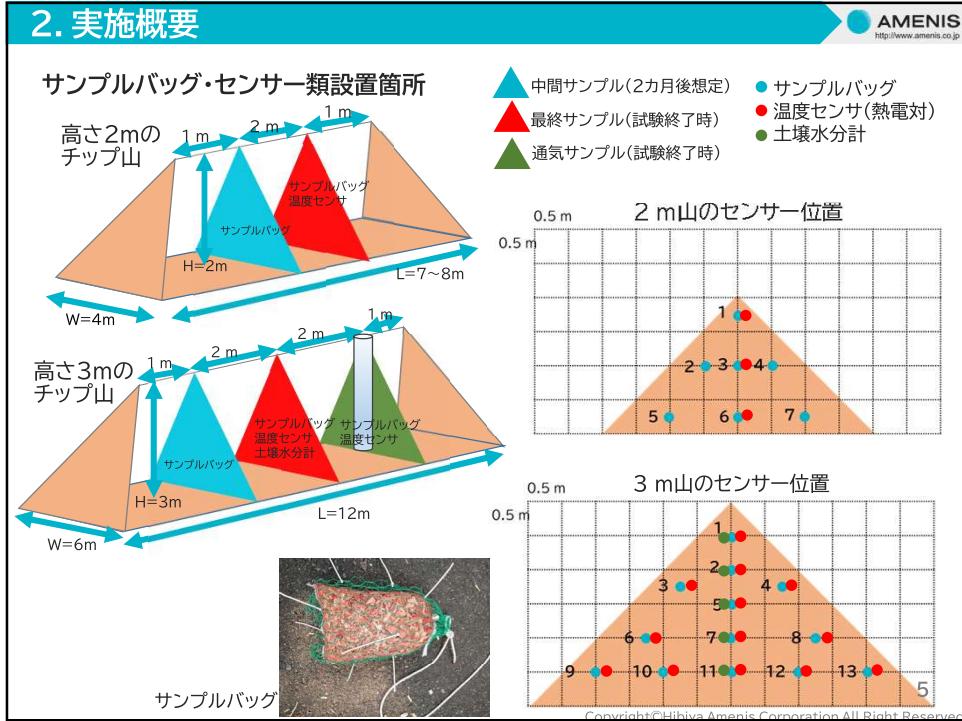
《実証試験の試験区と条件設定》

Pile(山)	基準	はだか	ふるい	広葉樹	高水分	3m	有孔管
樹種の違い	針葉樹	針葉樹	針葉樹	広葉樹	針葉樹 (高水分)	針葉樹	
チップ形状の比較	切削	切削	切削	切削	切削	切削	
部位	全幹	全幹	全幹	全幹	全幹	全幹	
ふるいの有無	なし	なし	あり	なし	なし	なし	
透湿防水シート(種類)	あり (TOPTEX)	なし	あり (TOPTEX)	あり (TOPTEX)	あり (TOPTEX)	あり (TOPTEX)	
高さ(m)	2	2	2	2	2	3	
チップ量(m ³)	25	25	25	25	25	90	
初期水分 W.B.(D.B.)	46.6 (88.1)	46.6 (88.1)	50.7 (103.6)	38.5 (62.7)	65.9 (194.5)	46.6 (87.3)	
初期灰分	0.9	0.9	1.0	1.7	1.4	0.9	

4

Copyright©Hibiya Amenis Corporation All Right Reserved

2. 実施概要

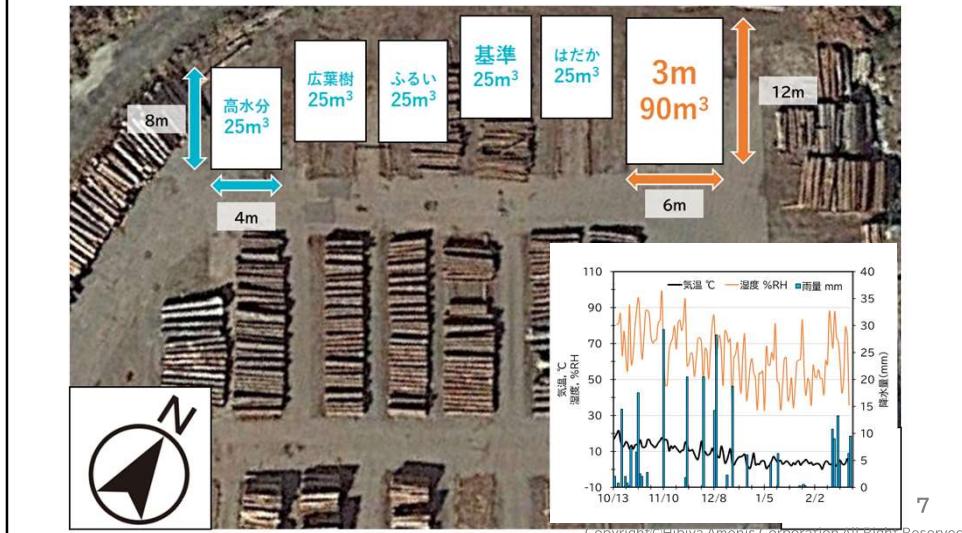


3. 実証試験の実施状況



4. 実施場所

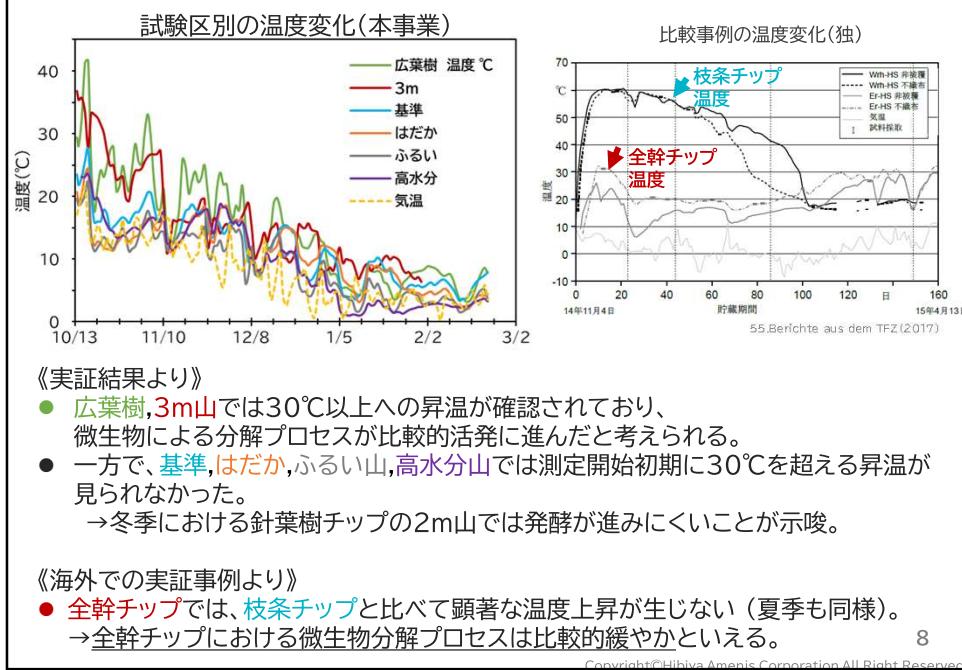
- 実証試験:原木市場(千葉県袖ヶ浦市)
- 下地状況:アスファルト舗装及びセメント舗装+農業用透水シート
- 気象条件:気温・相対湿度:平均8.1°C(0~23°C), 63.7%(32~99%)。
風向・風速 :85%が東からの微風。残り15%は北西, 北から3.0~8.0m/s

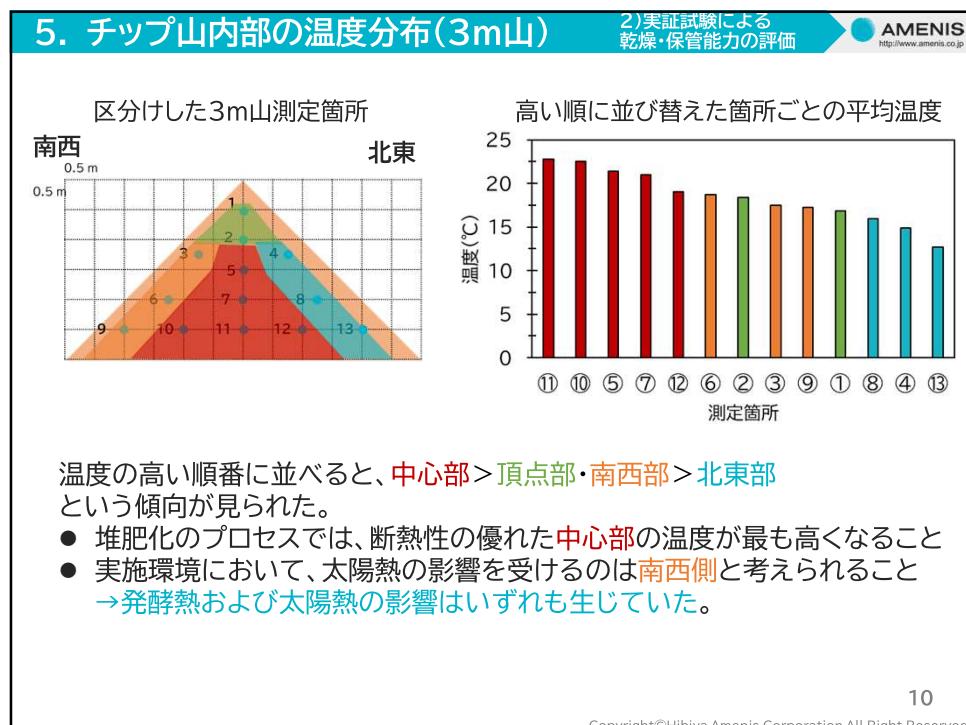
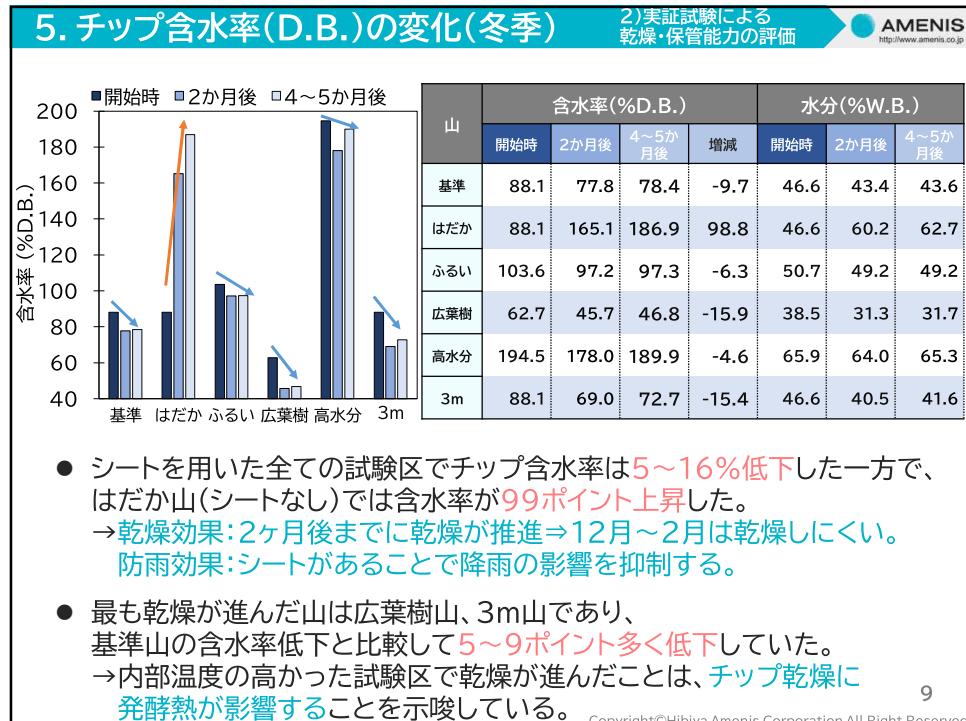


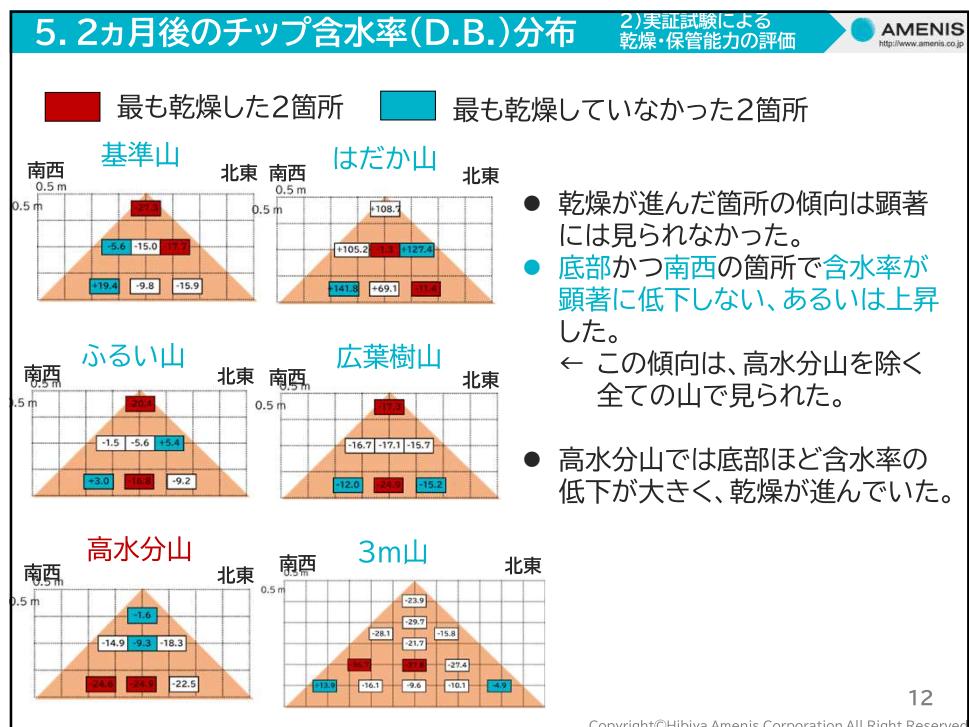
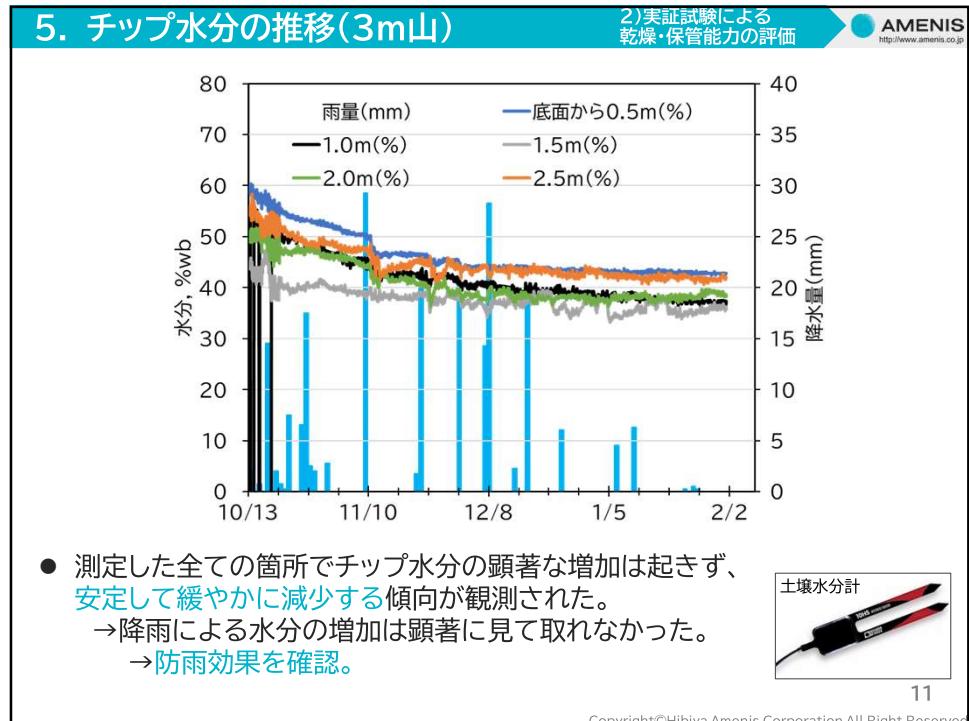
5. チップ山中心部の温度変化

2)実証試験による
乾燥・保管能力の評価

AMENIS
http://www.amenis.co.jp







5. 2カ月後のチップ含水率(D.B.)分布

2)実証試験による
乾燥・保管能力の評価

AMENIS
http://www.amenis.co.jp

南西底部のチップが乾かなかった原因:

- 地表からの雨水浸入が影響したと考えられる。
- 高水分山の位置は地表水の浸入を受けにくかったと推察。
- チップ管理の際には、流入する雨水への対策が望まれる。

地表水が流れる方向

Copyright©Hibiya Amenis Corporation All Right Reserved

5. 有機物損失の試算

2)実証試験による
乾燥・保管能力の評価

AMENIS
http://www.amenis.co.jp

- 乾物量変化による測定
微生物活性の度合いが微小であったため、有用なデータを得られなかった。
- チップ温度と乾物損失の関係式(文献値)による推定
分解率はチップ山の平均温度から影響を受ける。
→測定した堆積温度から乾物損失を推定した。

堆積山	平均堆積 温度 (°C)	分解速度 (m- %/week)	実施期 間 (week)	有機物 損失 (%)
基準	11.9	0.06	21	1.24
はだか	11.5	0.05	21	1.13
ふるい	9.2	0.03	21	0.59
広葉樹	14.7	0.09	21	1.88
高水分	※中心 温度 9.3	0.03	21	0.63
3m	15.4	0.10	18	1.74
有孔管	14.5	0.09	18	1.57

参考: 55. Berichte aus dem TFZ(2017)

有機物損失(%)

14

Copyright©Hibiya Amenis Corporation All Right Reserved

5. 燃料品質の変化

2)実証試験による
乾燥・保管能力の評価

AMENIS
<http://www.amenis.co.jp>

● はだか山・広葉樹山・3m山にて水分規格が変化

堆積山	水分規格			灰分規格		寸法規格		低位発熱量 (MJ/kg-wet)	有機物 損失 (%/ 4~5ヶ月)	
	開始	2か月	4~5か月	開始	4~5か月	開始	4~5か月			
基準	M55	M45	M45	A1.0	A1.0	P31	P31	9.46	10.59	1.24
はだか	M55	対象外	対象外	A1.0	A1.0	P31	P31	9.46	6.13	1.13
ふるい	M55	M55	M55	A1.0	A1.0	P31	P31	8.61	9.43	0.59
広葉樹	M45	M35	M35	A3.0	A1.0	P31	P31	10.31	12.36	1.88
高水分	対象外	対象外	対象外	A1.5	A1.0	P31	P31	4.94	5.33	0.63
3m	M55	M45	M45	A1.0	A1.0	P31	P31	9.46	10.75	1.74
有孔管	M55	—	M45	A1.0	A1.0	P31	P31	9.46	11.08	1.57

<規格参考>
ISO17225-4:2021[E], 燃料用木質チップの品質規格(木質バイオマスエネルギー利用推進協議会)

15

Copyright©Hibiva Amenis Corporation All Right Reserved

6. アンケート・ヒアリングによる運用実態の把握

4)本手法に適した事業
モデルの構築・パターン化

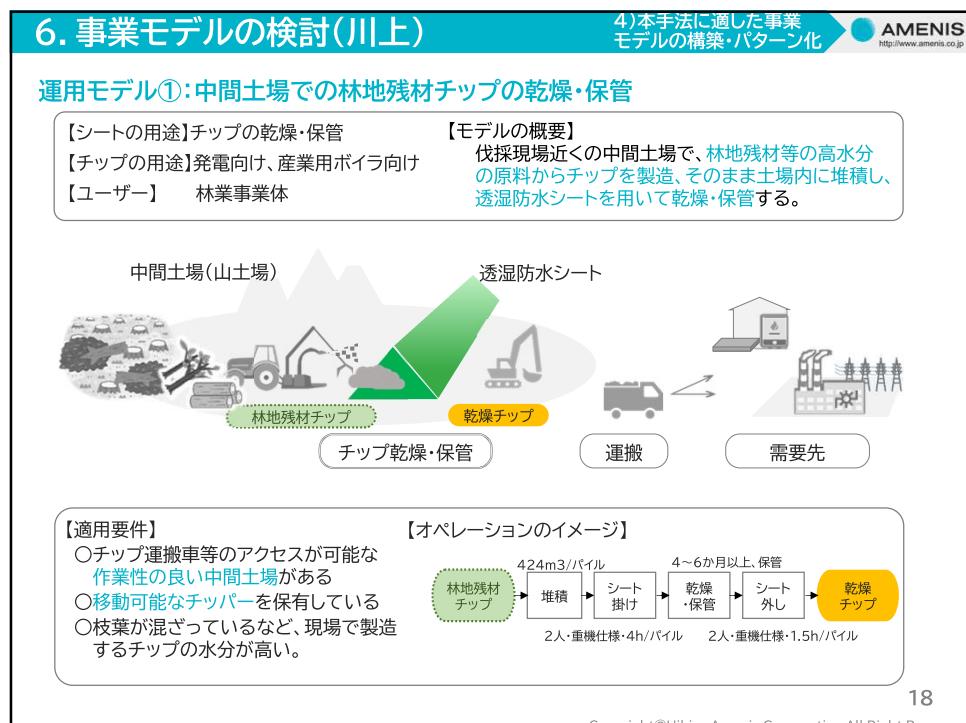
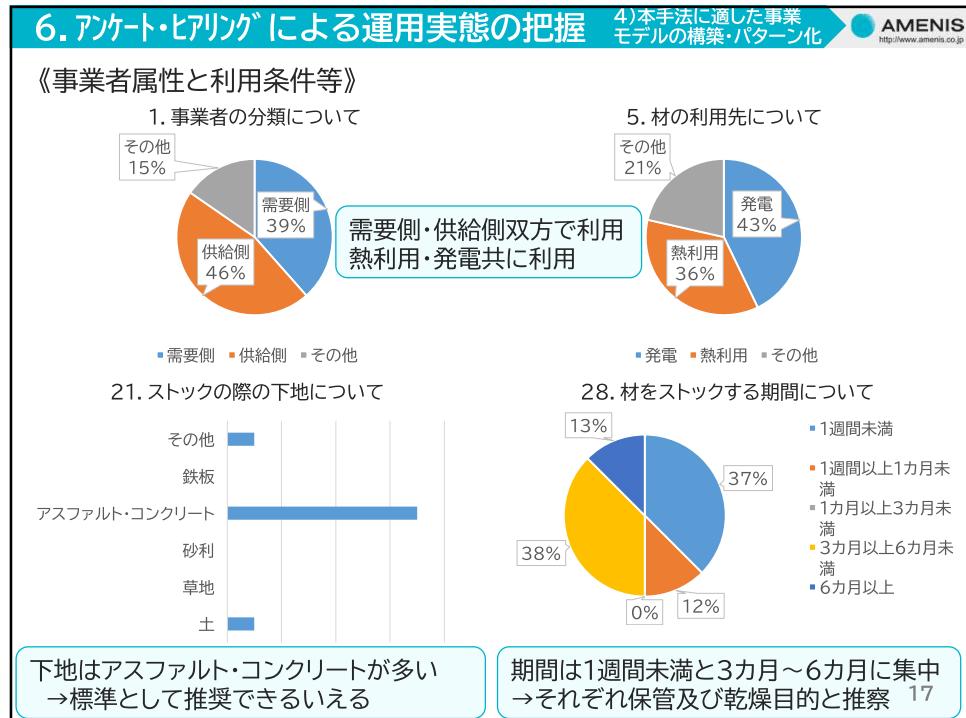
AMENIS
<http://www.amenis.co.jp>

期間 :2021年8月～2022年3月
対象事業者 :これまでの透湿防水シート購入者

- 複数の導入実績があり、各社で利用状況・使用方法は多様
(敷設する材・使用期間・運用上の工夫等)
- 現地訪問でのヒアリング調査
 - 事業者と材に対する認識
 - 材の品質管理と乾燥
 - Googleフォームへの回答集計
 - 材のストック状況
- 運用方法の現状を分析
- 適した運用法を事業モデルに組み込む

16

Copyright©Hibiva Amenis Corporation All Right Reserved



6. 本手法のパイルサイズと年間処理量

4)本手法に適した事業
モデルの構築・パターン化 AMENIS
<http://www.amenis.co.jp>

- 実証試験にて得られた実数値を基に、チップ山のサイズ・処理量・面積等を算出

前提条件の整理	チップ山 H=3m	チップ山 H=4m
チップパイルサイズ	W=6m L=50m 424m ³	W=8m L=50m 710m ³
シート利用数	2ロール/チップ山 ※ロールサイズ:6m×50m	
年間乾燥回数	2回 ※夏季等の実証を経て増加の可能性	
年間処理チップ量	848m ³ /年	1,420m ³ /年
必要面積	560m ² /パイル	672m ² /パイル
想定年間処理量(乾燥)	15,154チップm ³ /ha・年	21,131チップm ³ /ha・年

Copyright©Hibiya Amenis Corporation All Right Reserved

6. 乾燥コスト試算(H=3m・4m)

4)本手法に適した事業
モデルの構築・パターン化 AMENIS
<http://www.amenis.co.jp>

- 乾燥コストは、186円/チップm³(H=3m借地料なし)。
- 借地料や乾燥処理量が大きく影響を与える。

区分 H=3m	項目	パイルあたり	金額	単位	備考
ランニングコスト	透湿防水シート	40,600	96	円/チップm ³	 →800円/t(35W.B.)
	人件費	15,406	36		
	燃料費	4,710	11		
	機械損料	18,349	43		
	借地料	168,000	396		
合計	借地料含まず	79,065	186		→2,500円/t(35W.B.)
	借地料含む	247,065	582		

区分 H=4m	項目	パイルあたり	金額	単位	備考
ランニングコスト	透湿防水シート	40,600	57	円/チップm ³	補助金未想定 普通作業員全国平均 ホイールローダー・バックホウ ホイールローダー・バックホウ 土地価格1万円/m ² ・年 借地料6%
	人件費	21,043	30		
	燃料費	7,739	11		
	機械損料	25,826	36		
	借地料	201,600	284		
合計	借地料含まず	95,208	134		→600円/t(35W.B.)
	借地料含む	296,808	418		→1,800円/t(35W.B.)

Copyright©Hibiya Amenis Corporation All Right Reserved

